

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年2月18日  
中国運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名         | ①補助対象事業者等             | ②事業概要                        | 協議会における事業評価結果                   |                   |                    | 地方運輸局等における   | 備考   |
|--------------|-----------------------|------------------------------|---------------------------------|-------------------|--------------------|--|--|
|              |                       |                              | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況     | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点   |  |
| 広島県生活交通対策協議会 | 広島電鉄(株)<br>湯来系統       | 五日市駅南口～杉並台団地～湯来<br>ロジ前       | 系統の適切な計画について引き続き関係自<br>治体と検討する。 | A                 | A                  | 今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施<br>計画の策定過程において、系統の適切な計画に<br>ついて関係自治体と協働で検討する。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評<br>価できる。<br>今後も引き続き地域公共交通計画及び地域公共<br>交通利便増進実施計画の策定の中で関係自治体<br>等と連携し、公共交通ネットワークの形成に取り組<br>んでもらいたい。<br>また、SNSを通じた観光情報の提供や沿線学生へ<br>の支援や助成について関係自治体と連携し実施<br>しており、当該取組を通じて更なる利用促進に繋<br>げ、路線の維持に努めていただきたい。 |
|              | 広島電鉄(株)<br>三段峡系統      | 広島バスセンター～可部・加計～三<br>段峡       | 系統の適切な計画について引き続き関係自<br>治体と検討する。 | A                 | A                  | 今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施<br>計画の策定過程において、系統の適切な計画に<br>ついて関係自治体と協働で検討する。 |  |
|              | 広島電鉄(株)<br>三段峡系統      | 広島バスセンター～広島IC・戸河内<br>IC～三段峡  | 系統の適切な計画について引き続き関係自<br>治体と検討する。 | A                 | A                  | 今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施<br>計画の策定過程において、系統の適切な計画に<br>ついて関係自治体と協働で検討する。 |  |
|              | 広島電鉄(株)<br>琴谷系統       | 広島バスセンター～安佐営業所～<br>琴谷車庫      | 系統の適切な計画について引き続き関係自<br>治体と検討する。 | A                 | A                  | 今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施<br>計画の策定過程において、系統の適切な計画に<br>ついて関係自治体と協働で検討する。 |  |
|              | 広島電鉄(株)<br>今吉田系統      | 広島バスセンター～可部・小浜・大<br>釘～今吉田公民館 | 系統の適切な計画について引き続き関係自<br>治体と検討する。 | A                 | A                  | 今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施<br>計画の策定過程において、系統の適切な計画に<br>ついて関係自治体と協働で検討する。 |  |
|              | 広島電鉄(株)<br>さくら(東循環)系統 | 廿日市市役所前駅～廿日市市役所<br>前駅        | 系統の適切な計画について引き続き関係自<br>治体と検討する。 | A                 | A                  | 今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施<br>計画の策定過程において、系統の適切な計画に<br>ついて関係自治体と協働で検討する。 |  |
|              | 広島電鉄(株)<br>津田系統       | 廿日市市役所前駅～津田                  | 系統の適切な計画について引き続き関係自<br>治体と検討する。 | A                 | A                  | 今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施<br>計画の策定過程において、系統の適切な計画に<br>ついて関係自治体と協働で検討する。 |  |
|              | 広島電鉄(株)<br>阿戸系統       | 熊野営業所～阿戸学校                   | 系統の適切な計画について引き続き関係自<br>治体と検討する。 | A                 | A                  | 今後、地域公共交通網形成計画及び再編実施<br>計画の策定過程において、系統の適切な計画に<br>ついて関係自治体と協働で検討する。 |  |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名         | ①補助対象事業者等          | ②事業概要                    | 協議会における事業評価結果  |                   |                    |                          | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考 |
|--------------|--------------------|--------------------------|--|-------------------|--------------------|--------------------------|---|----|
|              |                    |                          | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点               | 評価結果  |    |
| 広島県生活交通対策協議会 | 芸陽バス(株)<br>瀬野・広島系統 | 宮の前～海田～広島バスセンター          | 広島都市圏発着便の運行時刻について、コロナ禍の影響で夜遅い時間帯の利用が激減していたことから、20時台～終便まで出発時刻繰り上げを行った。  | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 | 各系統は、ほぼ計画どおり適切に運行されており、評価できる。<br><br>企画乗車券の造成による利用促進を図っているところではあるが、ウイズコロナ・アフターコロナにおける利用者ニーズの把握し、当該ニーズを踏まえた新たな施策の実施し利用者確保していくとともに、運行サービスの内容等について各自治体と協議し、利便性の向上に努めていただきたい。 |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>東雲系統    | 宮の前～市役所前～広島バスセンター        | 広島都市圏の利用状況が、コロナ禍での外出抑制、在宅勤務などの影響を大きく受けており、利用状況が安定しない傾向。  | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |   |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>西条・広島系統 | 西条駅前～瀬野駅～広島バスセンター        | 広島都市圏発着便の運行時刻について、コロナ禍の影響で夜遅い時間帯の利用が激減していたことから、20時台～終便まで出発時刻繰り上げを行った。<br>特に八本松エリアの工業地帯で、在宅勤務やweb会議の影響で利用者数減少が目立った。 | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |   |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>西条・広島系統 | 八本松～海田～広島バスセンター          | 東広島市との路線再編の中で、運行系統の整理の打診を受けており引き続き協議したい。   | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |   |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>西条・竹原系統 | 西条駅前～新庄～竹原駅              | 利用者が新幹線東広島駅での乗降が一定の割合を占めている中で、新幹線の利用(県外への移行)需要が減少傾向。観光需要、県外出張に関連する需要を取り込めていない。                                     | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |   |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>竹原・三原系統 | 三原営業所～すなみ荘前～中通           | 沿線の観光需要が大きく減少している中、今年度は小学校、高校の通学利用が安定していた。<br>周辺地域の観光施設、商業施設等と連携を強化し、企画乗車券等の施策充実の下地を固めた。                           | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |   |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>沼田東系統   | 三原営業所～沼田東団地上本郷駅・松江～三原営業所 | 三原市内については、三原市独自の敬老障害者優待制度の利用者が多く、利用者数はさほど減少していないものの、通勤利用者など減少が目立つ。利用し易い時間を調査し時刻改正を行いたい。                            | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |   |    |

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名         | ①補助対象事業者等          | ②事業概要                          | 協議会における事業評価結果  |                   |                    |                          | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考 |
|--------------|--------------------|--------------------------------|--|-------------------|--------------------|--------------------------|--|----|
|              |                    |                                | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点               | 評価結果   |    |
| 広島県生活交通対策協議会 | 芸陽バス(株)<br>白市・空港系統 | ネオポリス北～白市駅・河内インター～広島空港         | 航空便大半が欠航し航空便利用者数自体が大幅に減少していることを受けて、空港発着便は利用状況が改善しないまま推移。<br>2021.10緊急事態宣言解除以降は若干改善の兆しが見えている。 | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 | (再掲)<br>各系統は、ほぼ計画どおり適切に運行されており、評価できる。<br><br>企画乗車券の造成による利用促進を図っているところではあるが、ウイズコロナ・アフターコロナにおける利用者ニーズの把握し、当該ニーズを踏まえた新たな施策の実施し利用者確保していくとともに、運行サービスの内容等について各自自治体と協議し、利便性の向上に努めていただきたい。 |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>白市・空港系統 | ネオポリス北～白市駅・元兼～広島空港             |  | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |  |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>豊栄・西条系統 | 豊栄～上戸野～西条駅前                    | お出かけ需要が減少している中、過疎化による沿線人口減少の影響もあり、引き続き厳しい状況が続いている。   | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |  |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>豊栄・西条系統 | 豊栄～高美が丘・西高屋駅～西条駅前              | 沿線高校からバス便を通学利用にもっと活用できないか打診等があり、運賃等も含めて市と協議している。   | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |  |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>白市・空港系統 | 白市駅～河内インター～広島空港                | 航空便大半が欠航し航空便利用者数自体が大幅に減少していることを受けて、空港発着便は利用状況が改善しないまま推移。<br>2021.10緊急事態宣言解除以降は若干改善の兆しが見えている。 | C                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |  |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>安芸南系統   | 海田市駅～矢野大浜<br>フジグラン安芸・矢野大浜～海田市駅 | 熊野有料道路の無料化があり、矢野地区の交通量が一気に増えた。定期運行が難しくなった中で、定時性確保できないためなのかコロナ禍の影響なのか判断が難しいが、利用者数が伸び悩む。       | B                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |  |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>竹原・広島系統 | フェリー前～竹原駅・河内IC～広島バスセンター        | 特に観光需要の浮き沈みが激しく、大幅な利用者数減少から改善の目途が立たない中で、通常の通勤利用、通学利用が一定量あり、継続運行し利用者数確保を目指した。                 | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |  |    |
|              | 芸陽バス(株)<br>竹原・広島系統 | 忠海駅前～竹原駅・河内IC～広島バスセンター         | 観光需要については、海外、県外からの観光客需要の回復は当面望めないと思われる。周辺地域の観光施設、商業施設等と連携を強化し、企画乗車券等の施策充実の下地を固めた。            | A                 | A                  | 今後の需要推移が全く読めず、対応に苦慮している。 |  |    |

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名             | ①補助対象事業者等            | ②事業概要                  | 協議会における事業評価結果   |                   |                    |                                     | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考 |
|------------------|----------------------|------------------------|---|-------------------|--------------------|-------------------------------------|--|----|
|                  |                      |                        | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点                          | 評価結果   |    |
| 広島県生活交通対策協議会     | (株)中国バス<br>福山・市系統    | 福山駅前～中国中央病院～市出張所       | 沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しをR2年3月29日のダイヤ改正にて図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は20,567千円となった。 | A                 | A                  | 沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。  |    |
|                  | (株)中国バス<br>福山・府中系統   | 目崎車庫～福山駅前              | 沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しをR2年3月29日のダイヤ改正にて図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は54,006千円となった。 | A                 | A                  | 沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める |  |    |
|                  | (株)中国バス<br>尾道・甲山系統   | 尾道駅前～川上口・新尾道駅～甲山営業所    | 沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しをR2年3月29日のダイヤ改正にて図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は14,721千円となった。 | A                 | A                  | 沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める |  |    |
|                  | (株)中国バス<br>尾道・甲山系統   | 尾道駅前～長江口・バイパス～甲山営業所    | 沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しをR2年3月29日のダイヤ改正にて図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は9,535千円となった。  | A                 | A                  | 沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める |  |    |
|                  | (株)中国バス<br>尾道・市系統    | 尾道駅前～川上口・新尾道駅～市(御調高校前) | 沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しをR2年3月29日のダイヤ改正にて図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は6,072千円となった。  | A                 | A                  | 沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める |  |    |
|                  | (株)中国バス<br>甲山・三原系統   | 甲山営業所～林崎谷～三原駅前         | 沿線自治体と連携し、利用実態に沿った運行計画の見直しをR2年3月29日のダイヤ改正にて図りましたが、コロナ禍の影響により経常損失額は21,137千円となった。 | A                 | A                  | 沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める |  |    |
|                  | (株)中国バス<br>三原・広島空港系統 | 三原駅前～三原棧橋～広島空港         | コロナ禍の影響により一年を通し、コロナによる減便を実施。経常損失額は14,023千円となり、経常損失額は、2,878千円改善した。               | A                 | A                  | 沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを図り収支改善に努める |  |    |
|                  | 鞆鉄道(株)<br>洗谷常石系統     | 福山駅前～洗谷～常石             | 令和3年4月1日にダイヤ改正を実施した   | B                 | B                  | 幹線・支線の検討でダイヤ改正                      | 各系統は、概ね計画どおり適切に運行されており、評価できる。<br><br>例年実施しているダイヤ改正や利用促進のために時刻表の配付を車内等でされているが、今後は、新型コロナウイルスの影響を踏まえた新たな利用ニーズの把握に努め、幹線・支線の検討を関係自治体等と協議を行いながら、利用促進を図る等の対策についても、検討を行っていただきたい。 |    |
|                  | 鞆鉄道(株)<br>瀬戸千年系統     | 福山駅前～瀬戸～千年橋            | 令和3年4月1日にダイヤ改正を実施した   | B                 | B                  | 幹線・支線の検討でダイヤ改正                      |  |    |
|                  | 鞆鉄道(株)<br>小立千年系統     | 福山駅前～小立団地～千年橋          | 令和3年4月1日にダイヤ改正を実施した   | B                 | B                  | 幹線・支線の検討でダイヤ改正                      |  |    |
| 鞆鉄道(株)<br>瀬戸常石系統 | 福山駅前～瀬戸～常石           | 令和3年4月1日にダイヤ改正を実施した    | B   | B                 | 幹線・支線の検討でダイヤ改正     |                                     |  |    |
| 鞆鉄道(株)<br>阿伏兎系統  | 福山駅前～瀬戸～阿伏兎          | 令和3年4月1日にダイヤ改正を実施した    | C   | B                 | 幹線・支線の検討でダイヤ改正     |                                     |  |    |
| 鞆鉄道(株)<br>福山内海系統 | 福山駅前～瀬戸～内海農協         | 令和3年4月1日にダイヤ改正を実施した    | C   | B                 | 幹線・支線の検討でダイヤ改正     |                                     |  |    |

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名         | ①補助対象事業者等            | ②事業概要                     | 協議会における事業評価結果   |                   |                    | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考   |
|--------------|----------------------|---------------------------|---|-------------------|--------------------|---|--|
|              |                      |                           | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点  |  |
| 広島県生活交通対策協議会 | 備北交通(株)<br>三城線       | 庄原駅～ジョイフル・上四十貫～三<br>次駅前   | 起終点である庄原駅の乗降場所および待合<br>所に デジタルサイネージを2台設置した。   | A                 | A                  | 老朽化したバス停標識の更新をおこなう。   | 系統は、計画どおり適切に運行されており、評価<br>できる。<br><br>デジタルサイネージの設置により、利用者への分<br>かりやすく情報提供がなされ、利便性の向上が図<br>られている。今後も、関係自治体や関係事業者と<br>も連携をし、観光需要を取り込むなど利用促進策<br>についても検討・実施いただきたい。                          |
|              | 本四バス開発(株)<br>瀬戸田～因島線 | 瀬戸田港～内海造船・生口橋～土<br>生港前    | 高速乗合バスで瀬戸田町へのセット券を企画<br>販売し、路線との乗り継ぎ等による増客を<br>図った  | A                 | A                  | 瀬戸田町への観光誘致を行い路線への利用促<br>進を図る  | 系統は、計画どおり適切に運行されており、評価<br>できる。<br><br>企画乗車券による利用促進策や地元企業への通<br>勤定期の利用促進等利用者増を図る策を講じて<br>いるところではあるが、観光需要を含め新たな利<br>用ニーズに応じた利用促進策の検討や、利便性<br>向上として他モードとの乗り継ぎをより図るなど、<br>引き続き関係者と協議をいただきたい。 |
|              | 江田島バス(株)<br>4主系統     | 小用～江田島役所前～大柿高校<br>前       | ・令和3年度策定予定の江田島市公共交通<br>計画において、航路や乗合タクシーの運航<br>(運行)事業者等と連携した持続可能なバス<br>路線網の構築を目指すこととしており、バス<br>ピーの利用データ等を分析・活用し、利用実<br>態等に沿ったダイヤの見直しを検討する。<br>・全路線を24時間自由に乗降可能な乗車券<br>(デジタルチケット)を設定、令和2年11月<br>より発売開始し、増客増収を図っている。 | A                 | A                  | ・江田島市公共交通計画に基づき、持続可能な<br>バス路線網の構築を目指すため、利用実態等に<br>沿ったダイヤの見直しを検討する。<br>・バス接近情報を反映した経路検索と全路線乗<br>降可能な乗車券の相乗効果により、増客増収を<br>図る。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評<br>価できる。<br><br>江田島市公共交通計画に基づき関係事業者と連<br>携をした路線網の構築を目指していただくとも<br>に、利用者利便向上のため、ICカード利用データ<br>を活用したダイヤの見直しやバス接近情報を反映<br>した経路検索ができるよう検討いただきたい。                      |
|              | 江田島バス(株)<br>14主系統    | 小用～大君～深江                  | ・令和3年度策定予定の江田島市公共交通<br>計画において、航路や乗合タクシーの運航<br>(運行)事業者等と連携した持続可能なバス<br>路線網の構築を目指すこととしており、バス<br>ピーの利用データ等を分析・活用し、利用実<br>態等に沿ったダイヤの見直しを検討する。<br>・全路線を24時間自由に乗降可能な乗車券<br>(デジタルチケット)を設定、令和2年11月<br>より発売開始し、増客増収を図っている。 | A                 | A                  | ・江田島市公共交通計画に基づき、持続可能な<br>バス路線網の構築を目指すため、利用実態等に<br>沿ったダイヤの見直しを検討する。<br>・バス接近情報を反映した経路検索と全路線乗<br>降可能な乗車券の相乗効果により、増客増収を<br>図る。 | あわせて、フリー乗車券をはじめとした企画乗車<br>券の造成等、引き続き観光客誘致も含めた利用<br>促進策を自治体、関係事業者と連携し実施いた<br>だきたい。  |
|              | さんようバス(株)<br>第1系統    | 太田～明石港・大串～太田<br>(大催上島循環線) | 病院や買い物について、コミュニティーバスと<br>路線バスの相互利用について増加する傾向<br>にある。現在の状況では時刻表を調整し、島<br>外へ移動するために、各港へのアプローチの<br>利便性の向上まで進んでいない。   | B                 | B                  | 大崎上島町・教育委員会との協議となりますが、<br>現8往復を7往復にすることにより、島外及び島内<br>の港旅客フェリーとのアクセスの利便性を向上さ<br>せる時刻改正を図りたい。                                 | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評<br>価できる。<br><br>島内住民の更なる利用促進と利便性向上を図っ<br>ていただくとともに、他モードとの乗り継ぎは、旅客<br>にとっての利便性を確保する上では必要不可欠<br>であり、引き続き関係者と協議の上、利便性の向上<br>を図るよう努めていただきたい。                          |
|              | 瀬戸内産交(株)<br>1系統      | 営農センター～安芸灘大橋～中国<br>労災病院   | 観光案内所・美術館施設が休館等により事<br>業の実施ができておらず コロナ過の中利用<br>客が減少した。  | A                 | A                  | バス利用促進につながる様に関係市町や観光<br>施設と連携しバス利用の利便性向上を図る   | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評<br>価できる。<br><br>フリー乗降区間の増加により、新たな利用者が増<br>えているところであるが、その他観光客にも利<br>用してもらえるよう、他モードとの乗り継ぎの円滑<br>化を含め、引き続き関係者と協議の上実施され<br>たい。  |
|              | 瀬戸内産交(株)<br>2系統      | 沖友天満宮～安芸灘大橋～中国<br>労災病院    | 観光案内所・美術館施設が休館等により事<br>業の実施ができておらず コロナ過の中利用<br>客が減少した。  | A                 | A                  | バス利用促進につながる様に関係市町や観光<br>施設と連携しバス利用の利便性向上を図る   | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評<br>価できる。<br><br>フリー乗降区間の増加により、新たな利用者が増<br>えているところであるが、その他観光客にも利<br>用してもらえるよう、他モードとの乗り継ぎの円滑<br>化を含め、引き続き関係者と協議の上実施され<br>たい。  |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名                     | ①補助対象事業者等               | ②事業概要  | 協議会における事業評価結果  |                   |   | 地方運輸局等における<br>二次評価結果                                      | 備考                          |  |
|--------------------------|-------------------------|--|--|-------------------|---|---|-----------------------------|--|
|                          |                         |  | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況  | ⑥事業の今後の改善点  |                             | 評価結果   |
| 広島県生活交通対策協議会             | 中国ジェイアールバス(株)<br>C1     | 西条駅～広～呉駅   | 新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している現状を関係自治体と共有し、車内の密を回避するため減便せずに運行し、路線を維持した。 | A                 | A   | 長期化する新型コロナウイルスの影響を考慮しつつ、生活交通を維持するため関係自治体と連携し、利便性の向上を検討する。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 |  |
|                          | 中国ジェイアールバス(株)<br>C2     | 西条駅～交差点～呉駅   | 新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している現状を関係自治体と共有し、車内の密を回避するため減便せずに運行し、路線を維持した。 | A                 | A   | 長期化する新型コロナウイルスの影響を考慮しつつ、生活交通を維持するため関係自治体と連携し、利便性の向上を検討する。 |                             |  |
|                          | 中国ジェイアールバス(株)<br>C109   | 賀茂医療センター口～庚・交差点～呉駅   | 新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している現状を関係自治体と共有し、車内の密を回避するため減便せずに運行し、路線を維持した。 | A                 | A   | 長期化する新型コロナウイルスの影響を考慮しつつ、生活交通を維持するため関係自治体と連携し、利便性の向上を検討する。 |                             | 引き続き関係自治体等と協議の上、地域行事等へのアクセス情報を関係自治体HP等において広報し、あわせて関係自治体と協力し観光イベントを実施するなど、利用促進及び利便性向上に取り組んでいただきたい。              |
|                          | 中国ジェイアールバス(株)<br>C161   | 西条駅～郷田～広島国際大学  | 新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している現状を関係自治体と共有し、車内の密を回避するため減便せずに運行し、路線を維持した。 | A                 | A   | 長期化する新型コロナウイルスの影響を考慮しつつ、生活交通を維持するため関係自治体と連携し、利便性の向上を検討する。 |                             |  |
|                          | 中国ジェイアールバス(株)<br>C164   | 西条駅～庚～広島国際大学   | 新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している現状を関係自治体と共有し、車内の密を回避するため減便せずに運行し、路線を維持した。 | A                 | A   | 長期化する新型コロナウイルスの影響を考慮しつつ、生活交通を維持するため関係自治体と連携し、利便性の向上を検討する。 |                             |  |
|                          | (株)井笠バスカンパニー<br>井原・福山系統 | 井原～御領～福山   | バスロケのシステム改修を行い、時間帯ごとの遅延データを分析、定時性の確保に努めたが、収益は10,413千円となり減収となった。    | A                 | A   | 利用者からの要望及び井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組み、利用実態に沿ったダイヤの改善を行う。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 |  |
|                          | (株)井笠バスカンパニー<br>篠坂・福山系統 | 篠坂～青葉台～福山  | バスロケのシステム改修を行い、時間帯ごとの遅延データを分析、定時性の確保に努めたが、収益は43,226千円となり減収となった。    | A                 | A   | 利用者からの要望及び井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組み、利用実態に沿ったダイヤの改善を行う。 |                             | バスロケデータの分析結果を踏まえ、利用実態や要望に添ったダイヤ編成を行っていただくとともに、これからも関係自治体と連携し、新型コロナウイルスの影響を踏まえた新たな利用ニーズの把握するなどし、利用促進を図っていただきたい。 |
| (株)井笠バスカンパニー<br>中国中央病院系統 | 福山～市民病院～中国中央病院          | バスロケのシステム改修を行い、時間帯ごとの遅延データを分析、定時性の確保に努めたが、収益は8,397千円となり減収となった。 | A  | A                 | 自治体・市民病院とのPASPYとの連携を検討し、更なる利便性、および効率等向上に向けた再編を検討。実績データ等に基づく遅延対策、他モード等との連携、および利用実態・ご要望等に沿ったダイヤ編成。また、代替輸送手段を含めた再編を検討する。 |   |                             |  |

## 評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名         | ①補助対象事業者等              | ②事業概要                      | 協議会における事業評価結果  |                   |                    | 地方運輸局等における<br>二次評価結果                                     | 備考   |
|--------------|------------------------|----------------------------|--|-------------------|--------------------|--|--|
|              |                        |                            | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点   |  |
| 広島県生活交通対策協議会 | (株)ささき観光<br>おおのハート(横断) | サンランド車庫～前空駅～広電阿品<br>駅      | 令和2年3月ルート・ダイヤ改正を実施。それに伴いGoogleMapでの経路検索を可能にし、利便性向上のためGTFSデータ整備に着手した。 | A                 | A                  | 今後も引き続き、コロナ対策を強化しながら、安心して利用できる交通手段として利用者にPRし、利用促進を図っていく。 | 系統は、計画どおり適切に運行されており評価できる。<br><br>廿日市においては、地域公共交通の再編が実施され、ルート及びダイヤ改正が実施されているところである。あわせて、GTFSデータの整備により、容易な経路検索が可能となり、利便性の向上も図られた。<br>引き続き関係者で協議をし、利用促進及び利便性向上に努めていただきたい。 |
|              | おのみちバス(株)<br>如水館線      | 尾道駅前～長江口～如水館前              | 7月上旬に実態調査を行い、利用状況の確認を行った。フリー乗降のできる区間設定があることを再度PRした。                  | A                 | B                  | 地域住民の利用状況を調査(実態調査、アンケートなど)し、沿線住民の要望・ダイヤ改正の必要性などを検証する。    | 系統は、計画どおり適切に運行されており評価できる。<br><br>引き続き、地域住民のニーズを的確に把握し、また、観光などの要素も活用しながら、設定している企画乗車券の見直しなどを行っていただき、利用促進を進めていくことを期待したい。  |
|              | 石見交通(株)<br>広益線         | 石見交通本社前～(清流ライン高津川号)～広島新幹線口 | コロナウイルスの影響が続く中、運行便数を維持し運行する事が出来た。                                    | A                 | A                  | 新型コロナウイルスの影響により、利用者の減少が続いている。ダイヤ改正等を検討し収支改善に努める。         | ※島根県の記載と同様   |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名             | ①補助対象事業者等                     | ②事業概要                      | 協議会における事業評価結果   |                   |  |   | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考 |
|------------------|-------------------------------|----------------------------|---|-------------------|--|---|---|----|
|                  |                               |                            | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況                                       | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況                             | ⑥事業の今後の改善点  | 評価結果  |    |
| 広島県生活交通対策<br>協議会 | 広島電鉄(株)<br>湯来                 | 既存 ノンステップバス3両              | ・引き続き関係自治体と検討する。  | A                 | A  | ・国の設定する導入目標に向けノンステップバスの代替を進める。  | 補助対象系統の運行に必要な車両について、昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響により一部車両購入を見合わせたところはあるものの、それを除いては計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。<br><br>乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、今年度から令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。<br><br>現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあり、また新型コロナウイルスの影響により車両更新スケジュールの見直しも余儀なくされているが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。<br><br>また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。 |    |
|                  | 広島電鉄(株)<br>三段峡                | 既存 都市間連絡用バス1両              | —   | A                 | A  | ・国の設定する導入目標に向けノンステップバスの代替を進める。  |   |    |
|                  | 広島電鉄(株)<br>津田                 | 既存 ノンステップバス1両              | ・引き続き関係自治体と検討する。  | A                 | A  | ・国の設定する導入目標に向けノンステップバスの代替を進める。  |   |    |
|                  | 広島電鉄(株)<br>琴谷・今吉田             | 既存 ノンステップバス1両              | ・引き続き関係自治体と検討する。  | A                 | A  | ・国の設定する導入目標に向けノンステップバスの代替を進める。  |   |    |
|                  | 芸陽バス(株)<br>瀬野・広島、東雲、畑賀、阿戸、安芸南 | 既存 ノンステップ5両                | 収支率悪化等の影響もあり、車両代替を行うペースを見直さざるを得ない状況となっており、今後の車両更新計画についても修正を行っている。 | A                 | C  | 2020年度導入車両より、シート生地に防菌加工されたシートを採用し始めている。<br>これ以外の車両についても、光触媒施工等を行い、感染症拡大対策を行った車両での運行を継続する。 |   |    |
|                  | 芸陽バス(株)<br>西条・広島、空港、白市・空港     | 新規 ノンステップ3両<br>既存 ノンステップ6両 |   | A                 | C  | 2020年度導入車両より、シート生地に防菌加工されたシートを採用し始めている。<br>これ以外の車両についても、光触媒施工等を行い、感染症拡大対策を行った車両での運行を継続する。 |   |    |
|                  | 芸陽バス(株)<br>西条・竹原、竹原・三原、三原・本郷  | 既存 ノンステップ7両                |   | A                 | C  | 高速バス車両を含めた各車に光触媒施工等を行い、感染症拡大対策を行った車両での運行を継続する。  |   |    |
| 芸陽バス(株)<br>西条・豊栄 | 既存 ノンステップ2両                   | A                          |   | C                 | 貸切バス車両を含めた各車に光触媒施工等を行い、感染症拡大対策を行った車両での運行を継続する。 |   |   |    |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名         | ①補助対象事業者等  | ②事業概要   | 協議会における事業評価結果  |                   |                    | 地方運輸局等における<br>二次評価結果                      | 備考  |
|--------------|--|---|--|-------------------|--------------------|---|---|
|              |  |   | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点                                |   |
| 広島県生活交通対策協議会 | (株)中国バス<br>福山～中国中央病院～市出張所  | 既存 ノンステップ1両                                   | 当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。  | A                 | A                  | 利用実態に応じた運行回数の設定に伴う車両の減車に合わせて全体的な更新を図る。    | 補助対象系統の運行に必要な車両について、昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響により一部車両購入を見合わせたところはあるものの、それを除いては計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。<br><br>乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、今年度から令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。<br><br>現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあり、また新型コロナウイルスの影響により車両更新スケジュールの見直しも余儀なくされているが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。<br><br>また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。 |
|              | (株)中国バス<br>福山～目崎車庫   | 既存 ノンステップ5両                                   | 当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。  | A                 | A                  |   |   |
|              | (株)中国バス<br>甲山～三原   | 既存 ノンステップ3両                                   | 当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。  | A                 | A                  |   |   |
|              | (株)中国バス<br>三原～広島空港   | 既存 ノンステップ3両                                   | 当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。  | A                 | A                  |   |   |
|              | (株)中国バス<br>尾道～甲山   | 既存 ノンステップ0両                                   | 当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。  | A                 | A                  |   |   |
|              | 新川線<br>新川線   | 新規<br>既存<br>ワンステップ1両<br>ワンステップ4両<br>ノンステップ10両 | 老朽化した車両3両を廃車した。  | C                 | B                  | 必要車両の見直しと平均車齢の年引き下げ                       |   |
|              | 備北交通(株)<br>三城線   | 既存 ノンステップ6両<br>新規 0両                          | 三城線時刻表(バスマップ)にノンステップバス導入済であることの広報を行っている。   | A                 | A                  | 当該系統への車両の導入事業は完了している。                     |   |
|              | 江田島バス(株)<br>小用～大楠高校前   | 既存 ノンステップ1両                                   | 令和3年5月に老朽化したツーステップ車両1両を減車するとともに、令和3年11月にはノンステップバス1両を導入、老朽化したワンステップ車両1両を減車した。これにより、ノンステップバスの運行率が高まり、利用者の利便性が向上するとともに、利用促進に寄与している。 | A                 | A                  | 引き続き、江田島市と連携しながら計画的にノンステップバスを導入し、利用促進を図る。 |   |
|              | 江田島バス(株)<br>小用～深江  | 既存 ノンステップ1両                                   |  | A                 | A                  |   |   |
|              | 中国ジェイアールバス(株)<br>西条～広～呉<br>西条～交差点～呉<br>加茂医療センター～庚～交差点～呉<br>西条～郷田～広島国際大学<br>西条～庚～広島国際大学 | 新規 ノンステップ0両<br>既存 ノンステップ9両                    | 補助制度を活用し低床車両の導入の促進を図ったが、本年度は導入を見送った。   | A                 | A                  | 引き続き、補助制度を活用した低床車両の導入を促進したい。              |   |
|              | (株)井笠バスカンパニー<br>井原～福山<br>中国中央病院  | 新規 ノンステップ1両<br>既存 ノンステップ1両                    | 1両車両更新を行った。  | A                 | A                  | 今後も車両代替を進めていく。                            |   |
|              | 石見交通(株)<br>広益線   | 既存 都市間連絡用                                     | 既存車両については、適切に運用されている   | A                 | A                  | 車両の状態に注視しながら、今後も更新計画策定し、安全・安心な運行に努める。     |   |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年2月18日

中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名                      | ①補助対象事業者等              | ②事業概要                    | 協議会における事業評価結果                            |                   |                    |   | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考 |
|---------------------------|------------------------|--------------------------|--|-------------------|--------------------|---|--|----|
|                           |                        |                          | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況              | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点  | 評価結果   |    |
| 鳥取県生活交通<br>確保に係る<br>地域協議会 | 日ノ丸自動車(株)<br>中河原系統     | 鳥取駅～山崎橋                  | 事業者、県及び市町村が行っている<br>利用促進等の取り組みを継続し<br>た。 | A                 | C                  | ○新型コロナ対策を施した公共交通の<br>安全性や公共交通の重要性を重点的<br>に周知することで可能な限りバス利用<br>者の減少を抑制していく。<br>○また、ウイズコロナ・アフターコロナ<br>時代の利用者需要の変化を踏まえた<br>地域の事情・ニーズに応じた地域公共<br>交通のあり方を検討していく。 | 各系統は、計画どおり運行されており評<br>価できる。<br><br>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス<br>の影響で輸送人員が減少したことにより、<br>目標を達成できていない系統が多くある<br>が、新型コロナ対策を施した公共交通機<br>関の安全性を引き続きPRいただくとも<br>に、ウイズコロナ・アフターコロナにおける<br>利用者ニーズの把握に努め、利用促進に<br>繋がるよう事業展開にしていいただくと<br>ともに、収支率が改善できるよう路線維持に<br>努めていただきたい。 |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>中河原系統     | 鳥取駅～市内～山崎橋               |  | A                 | A                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>智頭系統      | 鳥取駅～智頭駅前                 |  | A                 | C                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>用瀬系統      | 鳥取駅～用瀬                   |  | A                 | A                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>鹿野系統      | 鳥取駅～鹿野営業所                |  | A                 | B                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>上井・三朝系統   | 倉吉駅～三朝車庫                 |  | A                 | C                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>赤碕系統      | 倉吉駅～赤碕駅                  |  | A                 | C                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>境系統       | 米子駅～境港駅                  |  | A                 | A                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>境系統       | 米子駅～米子鬼太郎空<br>港          |  | A                 | C                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>根雨系統      | 米子駅～日野病院                 |  | A                 | C                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>根雨系統      | 米子駅～谷川                   |  | A                 | A                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>皆生日吉津循環系統 | 米子駅～イオン東館～米<br>子駅        |  | A                 | C                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>法勝寺線      | 祇園町日ノ丸前～大袋～<br>下鴨部日ノ丸車庫前 |  | A                 | C                  |   |  |    |
|                           | 日ノ丸自動車(株)<br>法勝寺線      | 祇園町日ノ丸前～峰～下<br>鴨部日ノ丸車庫前  |  | A                 | B                  |   |  |    |

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名                      | ①補助対象事業者等            | ②事業概要             | 協議会における事業評価結果                        |                   |                    |   | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考 |
|---------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------------------|-------------------|--------------------|---|---|----|
|                           |                      |                   | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況          | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点  | 評価結果  |    |
| 鳥取県生活交通<br>確保に係る<br>地域協議会 | 日本交通(株)<br>岩井系統      | 鳥取駅～蕪島            | 事業者、県及び市町村が行っている<br>利用促進等の取り組みを継続した。 | A                 | A                  | ○新型コロナ対策を施した公共交通の<br>安全性や公共交通の重要性を重点的<br>に周知することで可能な限りバス利用<br>者の減少を抑制していく。<br>○また、ウイズコロナ・アフターコロナ<br>時代の利用者需要の変化を踏まえた<br>地域の事情・ニーズに応じた地域公共<br>交通のあり方を検討していく。 | 各系統は、計画どおり運行されており評<br>価できる。<br><br>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス<br>の影響で輸送人員が減少したことにより、<br>目標を達成できていない系統が多くある<br>が、新型コロナ対策を施した公共交通機<br>関の安全性を引き続きPRいただくことと<br>ともに、ウイズコロナ・アフターコロナにおける<br>利用者ニーズの把握に努め、利用促進に<br>繋がるよう事業展開にさせていただくと<br>ともに、収支率が改善できるよう路線維持に<br>努めていただきたい。 |    |
|                           | 日本交通(株)<br>岩井系統      | 鳥取駅～長谷橋           |                                      | A                 | C                  |   |   |    |
|                           | 日本交通(株)<br>若桜系統      | 鳥取駅～若桜車庫          |                                      | A                 | C                  |   |   |    |
|                           | 日本交通(株)<br>関金系統      | 倉吉BC～関金BC         |                                      | A                 | C                  |   |   |    |
|                           | 日本交通(株)<br>関金系統      | 倉吉BC～明高           |                                      | A                 | A                  |   |   |    |
|                           | 日本交通(株)<br>橋津系統      | 倉吉BC～石脇車庫         |                                      | A                 | A                  |   |   |    |
|                           | 日本交通(株)<br>橋津系統      | 倉吉BC～小浜           |                                      | A                 | C                  |   |   |    |
|                           | 日本交通(株)<br>北条系統      | 倉吉BC～由良駅          |                                      | A                 | A                  |   |   |    |
|                           | 日本交通(株)<br>皆生日吉津循環系統 | 米子駅～イオン東館～米<br>子駅 |                                      | A                 | C                  |   |   |    |

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名                      | ①補助対象事業者等   | ②事業概要        | 協議会における事業評価結果                 |                   |                    |   | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考 |
|---------------------------|---|--------------|-------------------------------|-------------------|--------------------|---|---|----|
|                           |   |              | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点  | 評価結果  |    |
| 鳥取県生活交通<br>確保に係る<br>地域協議会 | 日ノ丸自動車(株)<br>中河原、智頭、用瀬、鹿<br>野、上井/三朝、赤碕、<br>境、根雨、皆生日吉津循<br>環、法勝寺 | ノンステップバス7台購入 | 引き続き計画的にバリアフリー対<br>応の車両へ更新した。 | A                 | A                  | ○目標は長期的なものとして適切であ<br>ると判断。<br>○一度に全ての車輛を更新することは<br>できないため、引き続きバリアフリー対<br>応の車両へ更新していく。 | 補助対象系統の運行に必要な車両につ<br>いて、新型コロナウイルスの影響により車<br>両購入を見合わせたところはあるものの、<br>それを除いては計画どおりに低床車両を<br>導入しており評価できる。   |    |
|                           | 日本交通(株)<br>岩井、若桜、関金、橋<br>津、北条、皆生日吉津循<br>環                       | バスなし         |                               | A                 | A                  |   | 現行制度では補助金の活用が困難との<br>声も聞くところではあり、また新型コロナウ<br>イルスの影響により車両更新スケジュー<br>ルの見直しも余儀なくされているが、高齢<br>化の進む中、バスの低床化による移動円<br>滑化に取り組むことは、公共交通機関とし<br>て必要であり、今後もノンステップバスを<br>中心とした車両の導入に努めて頂きたい。<br><br>また、地理的条件及び道路状況によりや<br>むを得ずワンステップバスを導入せざるを<br>得ない路線やワンステップでも困難な状<br>況も少なからず存在しているが、これらに<br>についても地元の道路管理者等にも要望を<br>するなど関係自治体と協議をしながら極<br>力低床車両の導入が可能となるよう協議<br>をしていただくことも引き続き努力いた<br>だきたい。 |    |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年2月18日

中国運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名               | ①補助対象事業者等           | ②事業概要            | 協議会における事業評価結果   |                   |                    | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考   |
|--------------------|---------------------|------------------|---|-------------------|--------------------|---|--|
|                    |                     |                  | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点  |  |
| 島根県生活交通<br>確保対策協議会 | 一畑バス(株)<br>大東系統     | 一畑バス本社～大東駅       | 作製する各種宣伝チラシにバス位置情報提供システム「バスナビ(令和2年3月運用開始)」の内容を掲載するなどしてバス利用の啓発に努めた。<br><br>交通系ICカード「ICOCA」を導入し、利用者利便の向上に努めた。<br>【SF利用開始: 令和3年5月】<br>【ICOCA定期券利用開始: 令和3年10月】<br><br>※新型コロナウイルス感染症の影響により、乗り方教室などのイベントは開催せず | A                 | B                  | 引き続き「バスナビ」「ICOCA(定期券含む)」をPRし、バス利用の啓発に努める。<br><br>新型コロナウイルス収束後、地域イベントに参加するなどしてバス利用促進に努めるとともに、学校や自治会等においてバスの乗り方教室を開催し、バス利用の端緒づくりに努める。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。<br><br>利用者が減少する中で、輸送量の減少傾向を緩和するという目標を達成できなかったが、ICカード導入により利用者の利便性向上は図られており、関係自治体とも相談し、ICカードの更なる普及のための施策を実施いただく等努めていただくとともに、コロナ禍においても可能な利用促進策についてもご検討いただきたい。 |
|                    | 一畑バス(株)<br>マリンプラザ系統 | 一畑バス本社～マリンプラザ前   |   | A                 | B                  |   |  |
|                    | 一畑バス(株)<br>御津系統     | 一畑バス本社～御津        |   | A                 | B                  |   |  |
|                    | 一畑バス(株)<br>玉造系統     | 松江しんじ湖温泉～玉造温泉    |   | A                 | B                  |   |  |
|                    | 一畑バス(株)<br>荒島系統     | 本社～荒島駅前          |   |                   |                    |   |  |
|                    | 一畑バス(株)<br>須佐系統     | 上塩治車庫～出雲須佐       |   | A                 | B                  |   |  |
|                    | 一畑バス(株)<br>大社系統     | 上塩治車庫～大社連絡所(北回り) |   | A                 | B                  |   |  |

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名               | ①補助対象事業者等         | ②事業概要                              | 協議会における事業評価結果  |                   |                    |  | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考 |
|--------------------|-------------------|------------------------------------|--|-------------------|--------------------|--|--|----|
|                    |                   |                                    | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点   | 評価結果   |    |
| 島根県生活交通<br>確保対策協議会 | 石見交通(株)<br>広益系統   | 石見交通本社前～広島新幹<br>線口(清流ライン 高津川<br>号) | 体験乗車会、免許返納割引制度<br>のPR等による利用促進に努める<br>計画であったが、新型コロナウイ<br>ルス感染症の影響により実施出来<br>なかった。 | A                 | B                  | 引き続きお客様ニーズを把握し、ダイ<br>ヤ改正等に努め利用促進を行う。<br>イベント等に参加しPR活動を続ける。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されて<br>おり、評価できる。<br><br>利用者が減少する中で、輸送量の減少傾<br>向の緩和するという目標を達成すること<br>ができなかったが、新型コロナウイルスの影<br>響で今年度は実施できなかった体験乗車<br>会やイベント参加により利用促進を行っ<br>ていただき、引き続き利用者ニーズを把握<br>し、系統の見直しなどの輸送効率化を行<br>うことにより、今後の利用者増加に期待し<br>たい。 |    |
|                    | 石見交通(株)<br>小浜江崎系統 | 医光寺前～江崎港(須佐駅<br>前)                 |  | A                 | B                  |  |  |    |
|                    | 石見交通(株)<br>津和野系統  | 医光寺前～津和野温泉                         |  | A                 | B                  |  |  |    |
|                    | 石見交通(株)<br>匹見系統   | 医光寺前～匹見上                           |  | A                 | B                  |  |  |    |
|                    | 石見交通(株)<br>都茂系統   | 益田駅前～二川                            |  | A                 | B                  |  |  |    |
|                    | 石見交通(株)<br>浜田益田系統 | 石見交通本社前～浜田駅前                       |  | A                 | B                  |  |  |    |
|                    | 石見交通(株)<br>弥栄系統   | 浜田駅前～弥栄支所                          |  | A                 | B                  |  |  |    |
|                    | 石見交通(株)<br>有福系統   | 周布～江津駅前<br>(有福温泉・済生会病院)            |  | A                 | B                  |  |  |    |
|                    | 石見交通(株)<br>周布江津系統 | 周布～江津駅前<br>(西波子・済生会病院)             |  | A                 | B                  |  |  |    |
|                    | 石見交通(株)<br>江津川本系統 | 済生会病院(江津高校前)～<br>石見川本              |  | A                 | A                  |  |  |    |
| 石見交通(株)<br>大田江津系統  | 大田市立病院前～済生会病<br>院 | A                                  | B  |                   |                    |  |  |    |

## 評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名               | ①補助対象事業者等                        | ②事業概要                  | 協議会における事業評価結果                |                   |                    |                                | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考 |
|--------------------|----------------------------------|------------------------|------------------------------|-------------------|--------------------|--------------------------------|---|----|
|                    |                                  |                        | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点                     | 評価結果  |    |
| 島根県生活交通<br>確保対策協議会 | 一畑バス(株)<br>マリンプラザ線<br>玉造線<br>須佐線 | 車両減価償却費<br>ノンステップバス 3両 | 計画どおりノンステップバス3両の<br>導入を実施した。 | A                 | A                  | 引き続き計画に沿ってノンステップバス<br>の導入を進める。 | <p>補助対象系統の運行に必要な車両については、計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。</p> <p>乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、今年度から令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。</p> <p>現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあり、また新型コロナウイルスの影響により車両更新スケジュールの見直しも余儀なくされているが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。</p> |    |
|                    | 石見交通(株)<br>津和野・匹見線<br>周布江津線      | 車両減価償却費<br>ノンステップバス 3両 | 計画どおりノンステップバス3両の<br>導入を実施した。 | A                 | A                  | 引き続き計画に沿ってノンステップバス<br>の導入を進める。 | <p>また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。</p>  |    |

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
**(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和4年2月18日

中国運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名               | ①補助対象事業者等               | ②事業概要             | 協議会における事業評価結果  |                   |                    |  | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考 |
|--------------------|-------------------------|-------------------|--|-------------------|--------------------|--|--|----|
|                    |                         |                   | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点   | 評価結果   |    |
| 岡山県生活交通<br>対策地域協議会 | (株)井笠バスカンパニー<br>笠岡～矢掛系統 | 笠岡～矢掛             | 他モードとの乗継を確保し、運行実態を反映した時分設定の見直し、定時制の確保等、利便性の向上による利用促進に取り組んだ。              | A                 | B                  | 引き続き他モードとの乗継を確保するとともに、運行実態を反映した時分設定に見直し、定時制を確保することにより、利便性を高める。   | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。<br><br>輸送人員の減少により、目標値には達していないが、他モードとの乗継確保による利便性の向上を図るとともに、引き続き利用者ニーズの把握に努め、関係協議会とも連携し、利用促進にも取り組んでいただきたい。 |    |
|                    | (株)井笠バスカンパニー<br>井原～福山系統 | 井原～福山             | 引き続き井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。                                       | A                 | B                  | 引き続き井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。  |  |    |
|                    | (株)井笠バスカンパニー<br>笠岡～井原系統 | 笠岡～井原             | 引き続き他モードとの乗継を確保し、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。                          | A                 | B                  | 引き続き他モードとの乗継を確保し、井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。   |  |    |
|                    | (株)井笠バスカンパニー<br>篠坂～福山系統 | 篠坂～福山             | 引き続き井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組んだ。                                       | A                 | B                  | 引き続き井笠・福山バス路線連携協議会と連携して利用促進に取り組む。  |  |    |
|                    | 下津井電鉄(株)<br>A-2岡山線系統    | 天満屋～JR児島駅         | 当該系統沿線住宅地への時刻表ポスティングの拡充実施と、HPを活用した病院・学校等の施設案内を実施し、観光素材のイベントパンフレット等を車載した。 | A                 | A                  | 沿線上学校の始業時間に合わせた運行ダイヤの設置を計画し、バスロケータの活用で適正な運行ダイヤ組みを実施する。   |  |    |
|                    | 下津井電鉄(株)<br>D-19茶屋町系統   | 倉敷駅～下電バス興除<br>車庫前 | 当該系統沿線住宅地への時刻表ポスティングの拡充実施と、HPを活用した病院・学校等の施設案内を実施し、観光素材のイベントパンフレット等を車載した。 | A                 | B                  | 沿線上学校の始業時間に合わせた運行ダイヤの設置を計画し、バスロケータの活用で適正な運行ダイヤ組みを実施する。   |  |    |
|                    |                         |                   |  |                   |                    | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。<br><br>輸送人員の減少している中で、一部系統で輸送人員目標を達成はしていないものの、それ以外の目標は達成している点は評価できる。<br><br>今後も引き続き、関係自治体と協力しながら地域交通の確保に努めるとともに、バスロケータを活用した適正な運行ダイヤ等を検討いただき、より利用者が利用しやすい運行に努めていただきたい。 |  |    |

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名               | ①補助対象事業者等               | ②事業概要               | 協議会における事業評価結果  |                   |                    |  | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考 |
|--------------------|-------------------------|---------------------|--|-------------------|--------------------|--|---|----|
|                    |                         |                     | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点   | 評価結果  |    |
| 岡山県生活交通<br>対策地域協議会 | 中鉄バス(株)<br>40佐山リハビリ系統   | 天満屋BC～リハビリセン<br>ター前 | 沿線施設のニーズを把握し、令和<br>3年4月にダイヤ改正を実施した。  | A                 | B                  | 関係自治体と連携して沿線施設のニ<br>ーズの把握に努め、ダイヤ改正を実施す<br>る。   | 系統は、計画どおり適切に運行されてお<br>り、評価できる。<br><br>輸送人員減少により、目標値には達してい<br>ないが、コロナ禍においても実施できる利<br>用促進策を関係自治体とともに検討いた<br>だくとともに、引き続きニーズの把握やダイヤ<br>改正による運行の適正化など、利用者の<br>利便性を向上させ、利用促進に取り組んで<br>いただきたい。 |    |
|                    | 中鉄北部バス(株)<br>58・60・85系統 | 津山～行方               | 当路線専用のポケット時刻表を作<br>成して沿線施設、自衛隊関係者及<br>び進学予定の中学3年生に配布す<br>る等、PR活動を実施し、利用促進<br>を図った。 | A                 | B                  | 奈義町現代美術館入場券とのセット乗<br>車券を設定する等し、観光需要の取り<br>込みを図っていく。  | 各系統は、計画どおり適切に運行されてお<br>り、評価できる。<br><br>輸送人員の減少により、目標値には達して<br>いないが、沿線施設や関係者に時刻表を<br>配付する等PR活動を実施し、利用促進を<br>図っている点は評価できる。  |    |
|                    | 中鉄北部バス(株)<br>145(高)勝山系統 | 岡山～勝山               | 真庭市が作成した公共交通マップ<br>及び時刻表をバス車内に備付け、<br>コミュニティバスとの乗り継ぎの利<br>便性をPRし利用促進に努めた。          | A                 | B                  | 岡山駅周辺や沿線の観光情報等を掲<br>載した時刻表を作成して関係自治体、<br>観光関連団体及び観光施設等へ配布<br>し、真庭市コミュニティバスやJR列車と<br>の乗り継ぎの利便性をPRする等し、利<br>用促進を図っていく。 | 引き続き、利便性の向上に努めてもらい、<br>企画乗車券の造成等関係自治体と協力し<br>ながら地域交通の確保に努めると共に、観<br>光需要の取り込みも含めた利用促進に努<br>めたい。  |    |

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名               | ①補助対象事業者等       | ②事業概要           | 協議会における事業評価結果                            |                   |                    | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考   |
|--------------------|-----------------|-----------------|--|-------------------|--------------------|--|--|
|                    |                 |                 | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況              | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点   |  |
| 岡山県生活交通<br>対策地域協議会 | 備北バス(株)<br>皆部系統 | 高梁駅～塩坪～皆部       | 関係自治体と連携し、高校生を中心とした利用促進を行った。             | A                 | B                  | 当該路線の利用者の多くは、高校生及び中学生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進む中、高梁市・真庭市と連携し利用促進に取り組み収支率55%台を目指していきたい。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。<br>輸送人員の減少により、目標値には達していないが、関係自治体と連携し、通学・通院利用者へ継続して利用促進を図られていることは評価できる。<br>県内中心地との接続等、重要な目的を持つ路線を維持していく中で、中山間地の少子高齢化に対応していくため、今後とも関係自治体との連携を密にし、これまで実施してきた利用促進策の検証を行いながら、より効果的な利用促進策について協議し、実施していただきたい。 |
|                    | 備北バス(株)<br>吉川系統 | 高梁駅～リハビリセンター～吉川 | 昨年度に引き続き高校生の通学補助を中心とした利用促進を行った。          | A                 | B                  | 当該路線の利用者の多くは、高校生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進む中、高梁市・吉備中央町と連携し利用促進に取り組み収支率52%台を目指していきたい。    |  |
|                    | 備北バス(株)<br>岡山系統 | 地頭～古町～岡山        | 昨年度に引き続き往復利用割引運賃制度及び愛カードの広報を行い利用促進を行った。  | A                 | B                  | 当該路線は高梁市より岡山市への通院及び買い物を中心とした路線であり、今後も高梁市・総社市及び岡山市と連携し利用促進に取り組み収支率48%台をめざしていきたい。          |  |
|                    | 備北バス(株)<br>地頭系統 | 地頭～古町～高梁駅       | 昨年度に引き続き高校生の通学補助及び愛カードの広報を中心とした利用促進を行った。 | A                 | B                  | 当該路線の利用者は、高校生の通学と病院への通院及び買い物への利用が多く、今後も高梁市と連携し利用促進に取り組み収支率46%台を目指していきたい。                 |  |

## 評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名               | ①補助対象事業者等                      | ②事業概要              | 協議会における事業評価結果  |                   |                    |  | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考 |
|--------------------|--------------------------------|--------------------|--|-------------------|--------------------|--|--|----|
|                    |                                |                    | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点                                       | 評価結果   |    |
| 岡山県生活交通<br>対策地域協議会 | 両備ホールディングス<br>(株)<br>74牛窓北線系統  | 西大寺～邑久駅～牛窓         | ・夏休み前にサマーキッズバスの<br>チラシを、瀬戸内市の協力を得て<br>沿線小・中学校に配布<br>・邑久～牛窓間の輸送に注力す<br>べく、運行形態見直しの検討を行っ<br>たが、実施時期は令和3年10月か<br>らとなった。 | A                 | B                  | お客様の需要に応じ、邑久～牛窓間の<br>輸送に注力するべく運行形態の見<br>直しを実施する。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されてお<br>り、評価できる。<br><br>輸送人員の減少により、目標値には達して<br>いないが、これまで実施してきたフリー乗車<br>券の他、デジタルチケットの販売や貨客混<br>載の取組など新たな取組も実施している。<br><br>今後は、実施した取組みの効果についても<br>検証いただき、より効果的な利用促進策を<br>講じていただくとともに、引き続き関係自治<br>体と協議いただき、更なる利便性向上に努<br>めていただきたい。 |    |
|                    | 両備ホールディングス<br>(株)<br>76牛窓南線系統  | 西大寺～西大寺駅・神崎<br>～牛窓 | ・夏休み前にサマーキッズバスの<br>チラシを、瀬戸内市の協力を得て<br>沿線小・中学校に配布<br>・JR西日本が運営する観光系アプ<br>リsetowaにて牛窓へアクセス可能<br>なデジタルチケットを販売した。        | A                 | B                  | 運行便数の設定の見直し、定期運賃<br>収入の増収策に取り組む。                 |  |    |
|                    | 両備ホールディングス<br>(株)<br>212銚立線系統  | 岡山駅前～銚立            | ・夏休み前にサマーキッズバスの<br>チラシを、玉野市の協力を得て市<br>内全小・中学校に配布<br>・岡山市内にて、柳川西、新西大<br>寺町筋、東中央町の3停留所を増<br>設し、利便性向上を図った。              | A                 | B                  | 定期運賃収入の増収策に取り組む。                                 |  |    |
|                    | 両備ホールディングス<br>(株)<br>218上山坂線系統 | 岡山駅前～宇野駅前          | ・夏休み前にサマーキッズバスの<br>チラシを、玉野市の協力を得て市<br>内全小・中学校に配布<br>・岡山市内にて、柳川西、新西大<br>寺町筋、東中央町の3停留所を増<br>設し、利便性向上を図った。              | A                 | B                  | 定期運賃収入の増収策に取り組む。                                 |  |    |

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名               | ①補助対象事業者等  | ②事業概要                                   | 協議会における事業評価結果               |                   |                    |                    | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考 |
|--------------------|--|---|-----------------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--|----|
|                    |  |   | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況 | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点         | 評価結果   |    |
| 岡山県生活交通<br>対策地域協議会 | 中鉄北部バス(株)<br>岡山～勝山線                                      | 車両減価償却費<br>都市間連絡用バス1両導<br>入<br>平成30年度1両 | 本年度は車両代替を実施しなかつた。           | A                 | A                  | 今後も計画的に車両代替を進めていく。 | 補助対象系統の運行に必要な車両については、計画どおりに低床車両を導入しており評価できる。<br><br>乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、今年度から令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。<br><br>現行制度では補助金の活用が困難との声も聞くところではあり、また新型コロナウイルスの影響により車両更新スケジュールの見直しも余儀なくされているが、高齢化の進む中、バスの低床化による移動円滑化に取り組むことは、公共交通機関として必要であり、今後もノンステップバスを中心とした車両の導入に努めて頂きたい。 |    |
|                    | (株)井笠バスカンパニー<br>笠岡～矢掛系統<br>井原～福山系統<br>笠岡～井原系統<br>篠坂～福山系統 | 車両減価償却費<br>ノンステップバス等10両<br>継続           | 計画通り車両の代替を進めた。              | A                 | A                  | 今後も計画的に車両代替を進めていく。 | また、地理的条件及び道路状況によりやむを得ずワンステップバスを導入せざるを得ない路線やワンステップでも困難な状況も少なからず存在しているが、これらについても地元の道路管理者等にも要望をするなど関係自治体と協議をしながら極力低床車両の導入が可能となるよう協議をしていただくことも引き続き努力いただきたい。  |    |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

令和4年2月18日  
中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名                                   | ①補助対象事業者等                                 | ②事業概要                        | 協議会における事業評価結果  |           |            |   | 地方運輸局等における  | 備考 |
|--|---|------------------------------|--|-----------|------------|---|---|----|
|  |   |                              | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点  | 二次評価結果  |    |
| 山口県生活交通確保維持改善協議会                       | 防長交通(株)<br>柳井駅前～快)～徳山駅前系統                 | 柳井駅前～快)～徳山駅前                 | R3.3.13に列車との接続便についてダイヤ改正を実施した。関係自治体と連携して利用しやすいダイヤ改正を実施した。<br>小児運賃一律50円キャンペーン等、バス利用促進に取り組み生活交通路線の維持を図った。<br>利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。 | A         | B          | 引き続き、バス利用促進につながるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用しやすいバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券等PRに努めていく。<br>バスロケーションシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。<br>輸送人員が減少し、目標値に達していない系統もあるが、より利用者が利用しやすいダイヤ改正や小児運賃一律50円キャンペーン等、バス利用促進や利便性を向上させる取組は実施されている。<br>一方で、コロナ禍における現状においては、当該状況を踏まえた利用者ニーズの把握が必要であると考えられ、当該ニーズを踏まえた利用促進策が必要と考えられます。<br>これまで実施されてきた各種施策の分析等を行い、現状のニーズに沿ったものであるか検討の上、より効果的な利用促進策を講じていただきたい。 |    |
|  | 防長交通(株)<br>防府駅前～新南陽駅～徳山駅前系統               | 防府駅前～新南陽駅～徳山駅前               |  | A         | B          |   |   |    |
|  | 防長交通(株)<br>柳井駅前～イオン・平生～上関系統               | 柳井駅前～イオン・平生～上関               |  | A         | B          |   |   |    |
|  | 防長交通(株)<br>大島駅前～周防久賀～町立橋医院前系統             | 大島駅前～周防久賀～町立橋医院前             |  | A         | B          |   |   |    |
|  | 防長交通(株)<br>大島駅前～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前系統    | 大島駅前～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前    |  | A         | B          |   |   |    |
|  | 防長交通(株)<br>徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛系統 | 徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 |  | A         | B          |   |   |    |
|  | 防長交通(株)<br>徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの系統       | 徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの       |  | A         | B          |   |   |    |
|  | 防長交通(株)<br>徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～柚木河内系統       | 徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～柚木河内       |  | A         | B          |   |   |    |
|  | 防長交通(株)<br>堀～中山～防府駅前系統                    | 堀～中山～防府駅前                    |  | A         | A          |   |   |    |
|  | 防長交通(株)<br>堀～和字～防府駅前系統                    | 堀～和字～防府駅前                    |  | A         | B          |   |   |    |
|  | 防長交通(株)<br>県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘系統          | 県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘          |  | A         | B          |   |   |    |
|  | 防長交通(株)<br>県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅系統    | 県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅    |  | A         | B          |   |   |    |
|  | 防長交通(株)<br>新山口駅～大田～東萩駅前系統                 | 新山口駅～大田～東萩駅前                 |  | A         | B          |   |   |    |
| 防長交通(株)<br>新山口駅～十文字～秋芳洞系統              | 新山口駅～十文字～秋芳洞                              | A                            | C  |           |            |   |   |    |
| 防長交通(株)<br>萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前系統 | 萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前                 | A                            | B  |           |            |   |   |    |

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名             | ①補助対象事業者等       | ②事業概要            | 協議会における事業評価結果  |           |            | 地方運輸局等における   | 備考   |        |
|------------------|-----------------|------------------|--|-----------|------------|--|--|--------|
|                  |                 |                  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点   |  | 二次評価結果 |
| 山口県生活交通確保維持改善協議会 | サンデン交通(株)北浦線    | 下関駅～唐戸～川棚温泉      | 前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大により甚大な影響を受けており、大幅な減収となっております。各種イベント中止、クルーズ船入港中止、学校関係の行事中止などあり、賞切バスにおいてはほぼ収入がない状況となりました。<br>R02.10.1にダイヤ改正を実施、運行系統の整理、運番削減等を行い効率的な運行に努めた。<br>R03.03.06よりICカード「ニモカ」導入、併せて、高齢者、学生以外の人にも利用できる「一般フリー定期」を新設、利便性の向上と収入増に努める。<br>また、引き続き、新入生お試し券(100円券)の配布による新入生のバス利用促進を図った。<br>その他、小児運賃一律50円キャンペーン、高齢者向け乗り放題バスへの免許返納者向け割引の設定、小学生へのバス乗り方教室の実施、「長門市内1日フリーバス」(スマートフォン決済)の導入、など利用者に便利な割引切符の販売等により、バス利用促進をPRした。 | A         | A          | 令和3年3月よりICカード「ニモカ」導入。利便性の拡大を目指すとともに経費削減に努める<br>併せて令和3年6月以降バスカード廃止。廃止後5年間バスカードの払い戻しを実施する。<br>経費削減のため、国庫補助系統「下関駅～小月局前～フジグラン宇部」の廃止、「下関駅～小月駅～美祢駅」と「下関駅～ゆめ・小月駅～美祢駅」をみなし系統として一本化する。<br>そのほか状況に応じて運行系統の見直しを行う。<br>引き続きバス利用促進につながるよう、標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供を進めていく。<br>また、関係市と連携してより利用しやすいバス路線を目指すと共に、新入生お試し券(100円券)の配布による学生需要拡大や、バス乗り方教室の開催、割引切符の整理、統合、スマートフォン決済の推進により、利用者の拡大に力を入れていく。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。<br>輸送人員が減少し、目標値に達していない系統もあるが、学生利用への対策や乗り方教室の実施により利用促進を図ってきていることに加え、利用者にお得な割引切符の販売により利用促進を図っている。また、ICカード導入により利便性向上も図っている。<br>今後は、利用促進策について、その効果を検証するとともに、新型コロナウイルスの影響を踏まえた新たな利用ニーズの把握にも努めていただき、関係自治体と連携してより利用しやすいバス路線として維持していただくことを期待したい。 |        |
|                  | サンデン交通(株)北浦線    | 下関駅～豊洋台3丁目～川棚温泉  |  | A         | B          |  |  |        |
|                  | サンデン交通(株)国道線    | 下関駅～小月局前～フジグラン宇部 |  | A         | C          |  |  |        |
|                  | サンデン交通(株)国道線    | 下関駅～小月駅～宇部中央     |  | A         | B          |  |  |        |
|                  | サンデン交通(株)国道線    | 下関駅～小月駅～小野田駅     |  | A         | C          |  |  |        |
|                  | サンデン交通(株)仙崎線・準  | 下関駅～小月駅～大泊       |  | A         | B          |  |  |        |
|                  | サンデン交通(株)下関・豊田線 | 下関駅～下大野～豊田町西市    |  | A         | B          |  |  |        |
|                  | サンデン交通(株)美祢線    | 下関駅～小月駅～美祢駅      |  | A         | C          |  |  |        |
|                  | サンデン交通(株)美祢線    | 下関駅～ゆめ・小月駅～美祢駅   |  | A         | C          |  |  |        |

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名                     | ①補助対象事業者等                         | ②事業概要  | 協議会における事業評価結果   |                   |                    | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考  |
|--------------------------|-----------------------------------|--|---|-------------------|--------------------|--|---|
|                          |                                   |  | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点   |   |
| 山口県生活交通<br>確保維持改善<br>協議会 | 船木鉄道(株)<br>本山線                    | 船木～本山岬<br>船木～サンパーク～本山岬<br>船木～労災病院～本山岬<br>船木～労災病院～サンパーク～<br>船木          | R2.10.11にダイヤ改正を実施し電車<br>との接続の利便性をよくし、効率的<br>な運行に努めた。<br>バス教室を実施し利用の促進に努<br>めた。<br>その他時刻冊子を配布しPRIに努め<br>た。   | A                 | B                  | 引き続き、バス利用促進につながるよう<br>時刻表の改善を行う。<br>また乗り方教室の実施等を実施しバス<br>のPRIに努める。   | 各系統は、計画どおり適切に運行されてお<br>り、評価できる。<br><br>輸送人員の減少により、目標値に達してい<br>ない系統もあるが、関係自治体の利便増<br>進実施計画に基づき、コミュニティ交通との<br>連携を図りつつ、利便性の向上や利用促<br>進に繋がる施策や路線維持の方策を検討<br>していただくことを期待したい。   |
|                          | 船木鉄道(株)<br>宇部線                    | 船木～宇部市役所   |   | A                 | B                  |  |   |
|                          | 船木鉄道(株)<br>厚狭線                    | 厚狭駅～宇部中央<br>厚狭駅～サンパーク～宇部中央<br>厚狭駅～労災病院～宇部中央<br>厚狭駅～労災病院～サンパーク<br>～宇部中央 |   | A                 | B                  |  |   |
|                          | 船木鉄道(株)<br>美祢線                    | 美祢市立病院～秋吉～美東病院<br>～大田中央<br>美祢駅～秋吉～美東病院～大田<br>中央<br>美祢駅～秋吉～大田中央         |   | A                 | B                  |  |   |
|                          | 船木鉄道(株)<br>美祢線                    | 美祢駅～秋吉<br>美祢駅～秋吉～秋芳洞   |   | A                 | B                  |  |   |
|                          | 石見交通㈱<br>広益線                      | 石見交通本社前～(清流ライン高<br>津川号)～広島新幹線口   | 利用促進に向けPRIに努める  | B                 | B                  | 利用促進につながるよう体験乗車会等<br>を実施しPRIに努めたい。   | ※島根県の記載と同様  |
|                          | 石見交通㈱<br>小浜江崎線                    | 医光寺～日赤・温泉～江崎港(須<br>佐駅前)  | 利用促進利用促進に向けPRIに努<br>める  | B                 | B                  | 利用促進につながるよう体験乗車会等<br>を実施しPRIに努めたい。   | ※島根県の記載と同様  |
|                          | 宇部市交通局<br>新山口線(特急)                | 宇部新川駅～山口宇部道路～新<br>山口駅  | 路線維持のため、バス停車表の停<br>留所掲示や時刻冊子の配布など、<br>PRIに取り組んだ。<br>また、バスオリエンテーリングや主<br>に小学生に乗り方教室を実施し、生<br>活交通路線の利用促進に取り組ん<br>だ。<br>また、令和2年10月から「Google<br>Map」で時刻、経路及び運賃の検索<br>を可能にし、情報提供の充実に努<br>めた。 | A                 | B                  | 引き続き、バス利用促進につながるよ<br>う、時刻表の改善や各種イベントへの参<br>加、乗り方教室の実施等により、PRIに<br>努める。<br>また、導入したバスロケーションシステ<br>ムのサイネージを増設することにより、<br>新規利用者の獲得に努める。<br>令和4年3月に導入予定のICカードの<br>導入による利便性向上を利用者増につ<br>なげる。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されてお<br>り、評価できる。<br><br>輸送人員の減少により、目標値に達してい<br>ない系統もあるが、コロナ禍においてもイ<br>ベントへの参加や乗り方教室の実施など<br>による利用促進策を実施しており、またGT<br>FS化による利便性向上にも努めているこ<br>とは評価できる。<br><br>今後は、ICカードも導入予定とのことで<br>あり、更なる利便性の向上が図られるが、新<br>規利用者獲得のための利用促進の取組み<br>も継続していただきたい。 |
|                          | 宇部市交通局<br>新山口線(普通)                | 宇部新川駅～サンパークあじす・<br>東岐波商業団地前～新山口駅新<br>幹線口                               |   | A                 | B                  |  |   |
|                          | 宇部市交通局<br>阿知須線                    | 宇部新川駅～今村～サンパーク<br>あじす  |   | A                 | B                  |  |   |
| 宇部市交通局<br>阿知須線           | 宇部新川駅～今村・ミスターマッ<br>クス宇部店～サンパークあじす | A  |   | B                 |                    |  |   |
| 宇部市交通局<br>小野田線           | 小野田営業所～大学病院前～常<br>盤町二丁目           | A  |   | B                 |                    |  |   |
| 宇部市交通局<br>西ヶ丘日赤線         | 西ヶ丘～ゆめタウン宇部～日赤<br>前               | A  |   | A                 |                    |  |   |

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等                | ②事業概要                     | 協議会における事業評価結果   |                   |                    | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考  |
|------|--------------------------|---------------------------|---|-------------------|--------------------|---|---|
|      |                          |                           | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点  |   |
|      | 中国ジェイアールバス(株)<br>D-74系統  | 山口駅～昭和町・ゆめタウン山口<br>～防府駅   |   | A                 | C                  | 引き続き、乗り継ぎ利便の向上、適正な所要時分となるよう、ダイヤ改正を実施する。また、山口市報へ補助路線が含まれているという一文を記載した時刻表を折り込むことや学期休み中に子ども50円バスを実施することなどを通して、地域住民への路線周知を図るとともに、バス乗り方教室やイベントへの参加を通じて地域と連携し、生活交通路線の維持を行う。 | 各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。<br><br>全国相互利用可能な交通系ICカードシステムを導入し、利用者の利便性向上を図られているが、新型コロナウイルスの影響によりバスの乗り方教室など利用促進の取組みの実施ができていない。<br><br>新型コロナウイルスの影響により、利用者ニーズも変化していると考えられることから、引き続き関係自治体と連携し、バス利用者増につながる取組みを行い、路線の維持に努めていただきたい。 |
|      | 中国ジェイアールバス(株)<br>D-77系統  | 防府駅～ゆめタウン山口・県庁・湯田温泉通～中尾口  | R3.3.13のダイヤ改正で、列車、バスとの接続を考慮したダイヤ編成を行った。   | A                 | A                  | R3.3に導入した交通系ICカードシステムについて、利用者へのPRなどを継続的にを行い、利用促進を図る。  |   |
|      | 中国ジェイアールバス(株)<br>D-109系統 | 防府～ゆめタウン山口・県庁・湯田温泉通～山口大学  | ダイヤ改正時に補助を受けていることを表記した時刻表を、山口市報配布時に折り込みを行い、沿線の地域住民に配布し、周知を行った。新型コロナウイルスの影響により、やまぐちバス博などのイベントが中止になったが、各自治体などの依頼によるバス乗り方教室の実施など、地域と協力した取り組みを行い、生活交通路線の維持を図った。 | A                 | B                  | R3.10より利用実態に即した運行内容とすることで、運行の効率化、利便性向上を図る。  |   |
|      | 中国ジェイアールバス(株)<br>D-128系統 | 湯田温泉駅～山口・県庁・野田・明倫センター～東萩駅 | R3.3に全国で相互利用可能な交通系ICカードシステムを導入し、利用者の利便性向上を図った。  | A                 | A                  | R3.3に導入した交通系ICカードシステムについて、利用者へのPRなどを継続的にを行い、利用促進を図る。<br>R3.10より「下田」停留所を新設し、利用実態に即した運行内容とすることで、運行の効率化、利便性向上を図る。  |   |

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名                     | ①補助対象事業者等   | ②事業概要  | 協議会における事業評価結果               |                   |                    | 地方運輸局等における<br>二次評価結果                | 備考  |
|--------------------------|---|--|-----------------------------|-------------------|--------------------|-------------------------------------|---|
|                          |   |  | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況 | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点                          |   |
| 山口県生活交通<br>確保維持改善<br>協議会 | 防長交通(株)<br><br>徳山駅前～快)～柳井駅前<br>徳山駅前～新南陽駅～防府駅前<br>柳井駅前～イオン・平生～上関<br>大島駅～周防久賀～町立橋病院<br>前<br>大島駅～大島商船・大島庁舎前・<br>沖浦～町立橋病院前<br>徳山駅前～バイパス・記念病院・<br>夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛<br>徳山駅前～新南陽駅・夢求の里<br>～コアプラザかの<br>徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・<br>湯野～袖木河内<br>堀～中山～防府駅前<br>堀～和字～防府駅前<br>県庁前～西京橋・新山口駅・長浜<br>～秋穂荘<br>県庁前～西京橋・リハビリ・権現<br>堂橋・山手～新山口駅<br>新山口駅～大田～東萩駅前<br>新山口駅～十文字～秋芳洞<br>萩商工高校前～萩センター・東萩<br>駅・越ヶ浜～奈古駅前 | 車両減価償却費<br>ノンステップバス 32両導入<br>平成28年度導入分=6両<br>平成29年度導入分=6両<br>平成30年度導入分=6両<br>令和元年度導入分=4両<br>令和2年度導入分=5両<br>令和3年度導入分=5両 | 計画通り低床車両の導入が図れる<br>よう努めた。   | A                 | A                  | 今後も引き続き、計画どおりノンステ<br>ップバスの導入を進めていく。 | 補助対象系統の運行に必要な車両につ<br>いては、計画どおりに低床車両を導入して<br>おり評価できる。<br><br>乗合バス車両のバリアフリー化に関する目<br>標は、今年度から令和7年度末までにノン<br>ステップバス割合が80%とされていると<br>ころである。<br><br>現行制度では補助金の活用が困難との声<br>も聞くところではあり、また新型コロナウ<br>イルスの影響により車両更新スケジュール<br>の見直しも余儀なくされているが、高齢化<br>の進む中、バスの低床化による移動円滑<br>化に取り組むことは、公共交通機関として<br>必要であり、今後もノンステップバスを中<br>心とした車両の導入に努めて頂きたい。<br><br>また、地理的条件及び道路状況によりや<br>むを得ずワンステップバスを導入せざるを<br>得ない路線やワンステップでも困難な状況<br>も少なからず存在しているが、これらにつ<br>いても地元の道路管理者等にも要望をす<br>るなど関係自治体と協議をしながら極力低<br>床車両の導入が可能となるよう協議をして<br>いただくことも引き続き努力いただきたい。 |

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名                     | ①補助対象事業者等   | ②事業概要   | 協議会における事業評価結果                     |                   |                    | 地方運輸局等における<br>二次評価結果                | 備考  |
|--------------------------|---|---|-----------------------------------|-------------------|--------------------|-------------------------------------|---|
|                          |   |   | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況       | ④事業<br>実施の<br>適切性 | ⑤目標・<br>効果<br>達成状況 | ⑥事業の今後の改善点                          |   |
| 山口県生活交通<br>確保維持改善<br>協議会 | サンデン交通(株)<br>国道線、西市線<br>美祢線、北浦線<br>仙崎線                  | 車両減価償却費<br>ノンステップバス 10両導入<br><br>平成29年度導入分=2両<br>平成30年度導入分=2両、都市<br>間高速1両<br>平成31年度導入分=2両<br>令和2年度導入分=2両<br>令和3年度導入分=2両 | 計画通り低床車両の導入が図れる<br>よう努めた。         | A                 | A                  | 今後も引き続き、計画どおりノンステッ<br>プバスの導入を進めていく。 | 補助対象系統の運行に必要な車両につい<br>ては、計画どおりに低床車両を導入して<br>おり評価できる。<br><br>乗合バス車両のバリアフリー化に関する目<br>標は、今年度から令和7年度末までに<br>ノンステップバス割合が80%とされてい<br>るところである。<br><br>現行制度では補助金の活用が困難との声<br>も聞くところであり、また新型コロナウ<br>イルスの影響により車両更新スケジュール<br>の見直しも余儀なくされているが、高齢化<br>の進む中、バスの低床化による移動円滑<br>化に取り組むことは、公共交通機関として<br>必要であり、今後もノンステップバスを中<br>心とした車両の導入に努めて頂きたい。 |
|                          | 船木鉄道(株)<br>本山線<br>宇部線<br>厚狭線                            | 車両減価償却費<br>ノンステップバス4両導入<br>平成29年度導入分=1両<br>平成30年度導入分=1両<br>令和元年度導入分=1両<br>令和2年度導入分=1両                                   | 新型コロナウイルスの影響により新<br>しい車両の導入は見送った。 | A                 | A                  | 次年度より計画的な導入を進めていく。                  |   |
|                          | 石見交通(株)<br>広益線  | 車両減価償却費<br>平成30年度導入数=2両<br>令和元年度導入数=2両  | 新たな車両導入は行っていない。                   | A                 | A                  | 計画的な導入を進めていく。                       |   |
|                          | 宇部市交通局<br><br>新山口線<br>阿知須線<br>小野田線                      | 車両減価償却費<br>ノンステップバス9両導入<br>平成29年度導入数=2両<br>平成30年度導入数=2両<br>令和元年度導入数=1両<br>令和2年度導入数=2両<br>令和3年度導入数=2両                    | 計画通り低床車両の導入が図れる<br>よう努めた。         | A                 | A                  | 今後も引き続き、計画どおりノンステッ<br>プバスの導入を進めていく。 |   |
|                          | 中国ジェイアールバス(株)<br><br>D74系統<br>D77系統<br>D109系統<br>D128系統 | 車両減価償却費<br>ノンステップバス4両導入<br>平成28年度導入分=1両<br>平成29年度導入分=0両<br>平成30年度導入分=0両<br>令和元年度導入分=2両<br>令和2年度導入分=1両<br>令和3年度導入分=0両    | 車両導入は行っていない。                      | A                 | A                  | 計画通り低床車両の導入が図れるよう<br>努めていく。         |   |